

令和4年 自己評価報告書

評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和4年4月8日

学校法人タイケン学園 日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校

目次

基準1	教育理念・目標	3
基準2	学校運営	3
基準3	教育活動	4
基準4	学修成果	5
基準5	学生支援	5
基準6	教育環境	6
基準7	学生の受入れ募集	6
基準8	財務	6
基準9	法令等の遵守	6
基準10	社会貢献・地域貢献	7
基準11	国際交流	7
	学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	7

評価委員

	所属	氏名
委員長	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 校長	本田 和人
委員	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 事務長	岡本 京子
委員	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校 教務	長藪 明子

大項目	評価項目	自己評価 優れている 3 適切 2 改善が必要 1	自己評価項目 総括	特記事項
1 教育理念・目標 人材育成像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	学校法人タイケン学園では、3つの建学の精神(1. 物事を科学する人材の育成、2. 質実剛健な人材の養成、3. グローバルな人材の養成)を掲げ、グローバルな感性、現代社会で勝ちぬくバランス力、政策力を持つ人材の育成を目指している。 しかし社会や業界はめまぐるしく変化しているため、その変化に対応していくには、本校の教育の内容を絶えず見直し、更新していく必要がある。	本校では令和3年度から生徒の募集を停止、令和6年度入学者より募集再開を予定している。 時代に合わせた教育内容になるよう、R4度中に学則の見直しを計っている。
	学校における職業教育の特色は何か	1		
	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	1		
	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	1		
	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	1		
2 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	学校運営の方針は明確に定められており、学校運営の事業計画、人事、給与体制、財務管理、コンプライアンス体制が確立されている。 週に一回、タイケン学園の理事長、副理事長、常務理事、各校代表者が参加するオンライン会議も行っており、指示されたことは全員に回覧している。	
	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3		
	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3		
	人事、給与に関する規定等は整備されているか	2		
	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	2		
	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3		
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3		
	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2		

3 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	1	<p>本校の教育理念と目標に沿った教育活動を日々行っているが、現状維持になりやすいところも見受けられるため、社会は常に進化しているという認識を持つ必要がある。常にアンテナを立てて、外部の変化を察知し、新しい知識と技能の導入を継続しなければならない。</p> <p>成績評価については、基準を学生にも周知し、明確な方法で行っている。</p> <p>職員間では常に情報共有をしており、学生全員の面倒を職員全員で見られるように常に気を配っている。</p>	<p>学生募集再開に向け、卒業後を考え、より実践的なカリキュラムとなるよう、変更を検討している。</p>
	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2		
	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2		
	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	1		
	関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	1		
	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	1		
	授業評価の実施・評価体制はあるか	2		
	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2		
	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3		
	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	1		
	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教育を確保しているか	2		
	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・業務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2		
	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2		
	職員の能力開発のための研修等が行われているか	1		

4 学修成果	就職率の向上が図られているか	2	<p>学科ごとに資格取得に向けたカリキュラムを組んで取り組んでいる。</p> <p>しかしながら、募集停止による部活動の縮小や、コロナ禍による不況で、退学者は増加した。</p> <p>また、外国人留学生は卒業後の就労ビザへの変更が難しく、進学を希望する者が多かった。</p> <p>今後の課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況下でも学生の学びや活動を止めないような支援 ・職業訓練により力を入れたカリキュラム以上を整える必要がある。 	
	資格取得率の向上が図られているか	1		
	退学率の低減が図られているか	1		
	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2		
	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2		
5 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2	<p>提携学生寮の紹介、部活動など、本校で学ぶ学生に対する支援については適切におこなわれている。</p> <p>しかしながら、卒業した学生との結びつきが若干弱いため、卒業生とのネットワークにおける情報収集なども構築していく必要がある。</p> <p>特に、スポーツを辞めた生徒が次に目指すことができる色々な選択肢を与えられる体制づくりが必要である。</p> <p>在学中のうちから、今後いつ方向転換をしてもいいように学生に多くの情報を与えるようにしていかなくてはならない。</p>	卒業生就職先の業界とのつながりがさらに深まるような学生支援のあり方（卒業生のネットワークづくり等）を研究し実行することが、今後の本校には求められる。
	学生相談に関する体制は整備されているか	2		
	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	2		
	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	1		
	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2		
	学生の生活環境への支援は行われているか	1		
	保護者と適切に連携しているか	2		
	卒業生への支援体制はあるか	1		
	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	1		

6 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	1	市街地から離れた住宅街に位置しているため、通学にはやや不便を伴うが、静かな環境で学習には適している。トレーニングルームやIT環境など、教育上必要な設備は整っているが、施設の老朽化が課題。地域のスポーツ施設や企業などとも連携し、課外活動や実習等を行っている。	地域と共生し、災害発生に備えた備蓄と学生教職員からなる実施可能な支援体制を地域と協力しあうことが重要。
	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2		
	防災に対する体制は整備されているか	1		
7 学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか	-	現在は募集停止中。令和6年度入学生より再開の予定である。	
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	-		
	学生納付金は妥当なものとなっているか	-		
8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	法人としての財務基盤は安定しており、問題はない。会計監査も適切に行われている。	本校の教員職員は、コスト意識が極めて高い。教員職員の背を見て育つ学生も、コスト意識が高い。この伝統は、今後も維持していきたい。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3		
	財務について会計監査が適正に行われているか	3		
	財務情報公開の体制整備はできているか	3		
9 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	専門学校運営のための法令は適切に遵守されている。毎年の学校基本調査やその他の調査報告など、行政への届は忠実に実行している。教職員は、さらに法令遵守の意識を高めたい。自己評価結果は、現在、募集停止に伴いホームページを閉鎖しているため、公表していない。	
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3		
	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2		
	自己評価結果を公開しているか	2		

10. 社会貢献・ 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	校外活動として、地域の清掃活動などのボランティアを取り入れている。今後、公開講座や教育訓練の委託なども学校運営の中で採算が合うように実行する方策も学んでいきたい。	
	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		
	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	1		
11. 国際交流	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	1	学園ではグローバルな人材育成を建学の精神に掲げており、外国人留学生の教育・受入れを積極的に行っている。しかし、現状では、卒業生のネットワークはなく、彼ら自身も団結の核がない状態である。卒業後も連携をとり支援を継続していくことが今後の大きな課題である。	
	受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	2		
	留学生の学習・生活指導について学内の適切な体制が整備されているか	1		
	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	1		

■学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学生募集を一旦停止したことは残念な結果ではあったが、今回、学校の評価を行ったことにより、改善すべき課題が見えてきた。募集再開までにそれらの課題に取組みつつ、優れた点は残し、より良い学校を構築していきたい。